

節水実践その2

お風呂



家庭では、お風呂で最も多く水が使われています。必要な分だけ使う工夫や、残り湯の再利用がお風呂における節水のカギです。

特におすすめ

シャワーはこまめに閉める

! 流しっぱなしにすると、1分間で約12ℓの水が流れます。



節約の目安

1人あたり1年間で約22㎡(21,840ℓ)、約3,600円の節約
(シャワーを1日に1度、15分のところをこまめに閉めて
10分間で済ませた場合)

特におすすめ

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 残り湯を利用する | <input type="checkbox"/> 洗濯に利用する | <input type="checkbox"/> 掃除に利用する |
| <input type="checkbox"/> 植木の水やりに利用する | <input type="checkbox"/> トイレの洗浄に利用する | <input type="checkbox"/> 洗車に利用する |



節約の目安

1年間で約16㎡(16,380ℓ)、約2,700円の節約(残り湯90ℓを、2日に1度再利用した場合)

おすすめ

必要な分だけためる

! 湯量は適量を心がけましょう。風呂ブザーやタイマーなどを活用してためすぎを防ぐ方法もあります。

たし湯が少なくてもすむよう家族が連続して入浴する

! 追い炊き機能のないお風呂では、特に有効です。

沸かしすぎない

! 余分な足し水が必要になります。



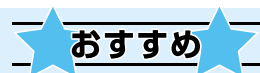
節約の目安

このマークがあるところでは、目安として1年間の節水量と節約金額を例示しています。

※節約金額は、熊本県内の上水道の平均使用料金(20㎡あたり)から、1㎡(1,000ℓ)あたり166円(税込)で計算しています。

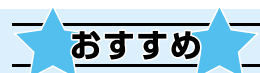


風呂水汲み上げポンプを使う



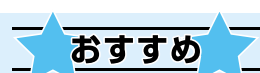
! お風呂の残り湯を楽にくみ上げるポンプです。残り湯を洗濯や散水などに再利用するのに便利です。(市場価格:1,500円～)

風呂ブザーを使う

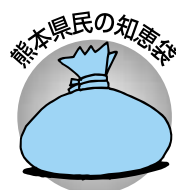


! ためすぎや沸かしすぎがないように、お風呂の温度や水量をあらかじめ設定すれば、ブザーが鳴り、知らせてくれます。また、水量を自動的に止める機器もあります。(市場価格:1,000円～)

節水シャワーヘッドを使う



! 少なめの水量でも通常のシャワーの勢いを保つシャワーヘッドや手元のボタンで水を出したり止めたりすることのできるシャワーヘッドがあります。(いろいろなシャワーに取り付けられるようアダプターが付いています。)(市場価格:1,000円～)



健康のためにも半身浴を心がけ、湯量を3分の2くらいにしています。

シャワー使用时、温水が出てくるまでの水をバケツにため、お湯と混ぜて体を洗い流すお湯にしたり、風呂掃除などに利用しています。

上がり湯のシャワーは浴槽内で浴び、残り湯を増やしています。

! 夏場シャワーだけを使うときも、シャワーを浴槽内で浴び、それをためておいて洗濯に利用されている方もいます。

風呂水の取り替えを2日に1回とし、取り替え日を洗濯日として残り湯を利用しています。

夏の入浴はバケツに湯をためて身体を洗っています。

! 上手に使える普通のバケツ2杯分で洗髪までできるそうです。

風呂掃除は、タイルが乾いてしまうとめらすのに水が必要なので乾かないうちに済ませています。

! その際残り湯を使うとさらに節水に。

家族で一緒にお風呂に入るようにしています。

! 子どもと一緒に入ることで、少ないお湯でも肩までつかることができるそうです。